

Breast Cancer Quality of Survival Conference

日時：平成 31年 2月 28日 木 18:30~20:15

場所：ダイワロイネットホテル和歌山 プレジール

〒640-8156 和歌山県和歌山市七番丁26-1 TEL：073-435-0055

【特別講演 1】 18:30~19:20

座長 和歌山県立医科大学 外科学第一講座 准教授

尾浦 正二 先生

『 転移再発乳がんに対するエリブリンの役割 ～生存期間延長を視野にいれ～ 』



演者 京都大学大学院医学研究科 乳腺外科
古武 剛 先生

- ・日本臨床腫瘍がん薬物療法専門医、指導医
- ・日本赤十字社 和歌山医療センター 非常勤医師
- ・転移性乳癌患者におけるエリブリン療法の効果を探索する観察研究「E-SPEC」の主任研究者

転移再発乳がんの治療の目的は延命と生活の質（QOL）の改善です。
薬物療法を行う上で、治療目的である延命を考えた時の治療方針について
エリブリンの役割も含め、お話し頂きます。

【特別講演 2】 19:20~20:10

座長 日本赤十字社和歌山医療センター 院長補佐（兼）乳腺外科部 部長

芳林 浩史 先生

『 医療行動経済学と意思決定支援について 』



演者 大阪大学大学院経済学研究科 教授
大竹 文雄 先生

近著「医療現場の行動経済学 ～すれ違う患者と医者～」大竹 文雄 平井啓 編著
なぜ患者さんは「ここまでやって来たのだから続けたい」まだ大丈夫だからこのまま
でいい」「『がんが消えた』という広告があった」と言うのか？ 行動経済学の観点
からその背景を紐とぎ、がん治療においてより良い意思決定を患者さんで行うための
方法をご講演いただきます。



* 講演会終了後、立食による情報交換の場を用意しております

主催：イーザイ株式会社